

平成28年度 第3回 国立市文化財保護審議会 議事録要旨

1. 日 時 平成28年12月1日(木)
午後3時00分から5時30分
2. 場 所 国立市役所 3階 教育委員会室
3. 出席者 白井委員、和田委員、馬場委員、佐伯(安)委員、
佐伯(元)委員、玉蟲委員、長田委員
[事務局] 津田課長、井田係長、玉城囑託員、山口囑託員
[建築営繕課] 近藤主査
[国立駅周辺整備課] 松平係長

4. 内 容

【議題】

(1) 前回審議会議事録について

前回審議回議事録の説明をし、確認された。

(2) 平成28年度市指定・登録文化財候補について

○「本田家所蔵篆刻印(主屋内)」について

事務局より、本田家現当主より本田家の主屋、薬医門、それらを含む土地、主屋内と蔵内の資料寄贈の申込を受け、市は受入書を発行した旨、報告した。

当該資料の取扱いについて、国立市文化財登録・指定基準に基づき、登録文化財の候補とした。また、今後、諮問に向けて、以下の点を修正することとした。

- ・当資料が市の所有となったことによるタイトルの見直し。
- ・概要(生没年の表記)の修正。
- ・「評価」の項目を「登録理由」と改め、「国立市文化財登録・指定基準」の項目を新たに設置。

○円城院跡について

前回の審議会で課題となっていた文化財登録にあたっての所有者の合意が取れたこと、史跡として登録する場所を明確にし、地番を明記したことを報告した。また、昭和50年の資料は「附」にしないことを確認した。今後、諮問に向け、以下の点を修正することとした。

- ・鋳物師矢澤家と円城院の関係性から、タイトルの見直し。

- ・登録面積は登記簿上の表示面積であることの明示。
- ・「評価」の項目を「登録理由」と改め、「国立市文化財登録・指定基準」の項目を新たに設置。

【報告事項】

(1) 東京文化財ウィークについて

10月29日(土)から11月6日(日)にかけて行われた東京文化財ウィークについて、配布資料に基づき、公開文化財、見学者数、本田家住宅内部特別公開、企画事業の報告をした。

(2) 旧国立駅舎再築事業について

○旧国立駅舎再築事業の進捗状況について

建築営繕課より、部材調査の結果、材の再利用率は本数で計算すると67%、材積では72%とみなされ、再利用率を反映させた図面を作成中であると報告した。また、再利用にあたっては、耐震性を踏まえて判断していくとの説明があった。今後、平成29年1月より実施設計を開始、5月に現状変更の申請、手続き完了後、建築審査会の同意を目指すことといたしたい。

○旧国立駅舎用地の売買契約に関する覚書き締結について

国立駅周辺整備課より、平成28年10月31日付けで、JRと土地売買契約に関する覚書を締結したことを報告した。事業面積648㎡の内、道路用地138㎡は確保しており、510㎡が買収対象用地である。